

近藤豊撮影写真資料

京の記憶アーカイブでは、平成 26 年度に整理が済み、当館に寄贈された近藤豊撮影写真資料を画像で公開しています。

この資料群は、建築史家の故近藤豊氏が建築史の研究資料のため、生涯を掛けて撮影した写真のうち、約 6 万カットに及ぶもので、ほとんどすべての資料に撮影年次、撮影場所が書かれているのが特徴です。これほど克明に記録を残されている写真資料は希有な例といえます。撮影年次は、昭和 8 年(1933)から平成元年(1989)にまで至っています。

また、写真の対象物は、近藤氏が建築の中でも建築物の部材、意匠といったことが専門であったことから、その関連の写真が大部分を占めています。まさに、戦前から平成にかけての建築物や、細部の建築意匠を知ることのできる一級資料といえます。

(資料群目録の解題)

撮影の対象地域は、京都を中心に日本全国や、韓国の建築物に及んでいます。特に注目すべきは、現存しない建物の写真が含まれていることです。例えば、写真の聖ヨハネ教会は、現在、愛知県犬山市の明治村に移築され、重要文化財になっていますが、京都市下京区の河原町五条に存在した昭和 32 年(1957)12 月 14 日に撮影されたものです。

先に述べたように、撮影時期が戦前期から平成まであり、時代に応じて撮影された感光材料がガラス乾板からブローニーフィルム、35mm フィルムへと変わっていく点も大変興味深い資料です。今後、多くの方々に御利用いただけたら幸いに存じます。

(参考) 総合資料館だより No.179 2014年4月



聖ヨハネ教会(河原町五条下ル、昭和 32 年 12 月 14 日撮影)

(2015 年 12 月 25 日公開)